

## [価格対策課業務]

肉用牛経営及び養豚経営の価格差補てん事業の支援を通じ、畜産経営の安定を図るとともに、畜産経営の振興のため生産基盤の強化拡大に資する各種事業を実施した。

### 1) 補助・助成事業

#### (1) 独立行政法人農畜産業振興機構補助事業

##### ① 肉用子牛生産者補給金制度

契約肉用子牛 1 頭当りに必要な生産者積立金を生産者の負担金と県、国の助成により造成し、四半期毎の平均売買価格が肉用子牛の再生産を確保することを旨として設定された「保証基準価格」を下回った場合に生産者補給金を交付する事業を実施した。

肉用子牛については、各品種ともに価格の上昇が続いており補給金の発動はなかった。

#### a) 生産者補給金交付契約締結状況 (単位:戸)

契約区分	契 約 者 数				
	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
個 人	27	27	21	25	26
農事組合法人	5	5	5	4	4
株 式 会 社	2	2	3	5	6
合 名 ・ 合 資	-	-	1	-	-
有 限 会 社	-	-	1	3	3
合 計	34	34	31	37	39

#### b) 事務委託契約締結状況 (単位:件)

委託先区分	委 託 契 約 数				
	25 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
総 合 農 協	8	8	9	9	9
専 門 農 協	2	2	0	0	0
農 協 連	2	2	2	2	2
そ の 他	1	1	1	1	1
合 計	13	13	12	12	12

#### c) 契約肉用子牛個体登録頭数 (単位:頭)

品種区分 期間区分	黒毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種	計
平成29年 1月～3月	344	0	3	422	769
平成29年 4月～6月	299	0	0	429	728
平成29年 7月～9月	332	0	0	423	755
平成29年10月～12月	331	0	1	417	749
合 計	1,306	0	4	1,691	3,001

## d) 保証基準価格と合理化目標価格

(単位：円)

品種区分	保証基準価格	合理化目標価格	備考
黒毛和種	339,000	282,000	
その他の肉専用種	221,000	150,000	
乳用種	136,000	93,000	
交雑種	210,000	152,000	

## e) 肉用子牛平均売買価格

(単位：円)

品種区分 期間区分	黒毛和種	その他の 肉専用種	乳用種	交雑種
平成29年 1月～3月	851,400	360,200	213,800	419,300
平成29年 4月～6月	809,400	356,900	214,300	396,700
平成29年 7月～9月	754,800	228,500	236,300	361,100
平成29年10月～12月	773,400	238,200	252,100	390,000

## f) 契約肉用子牛1頭当り生産者負担金

(単位：円)

品種区分	生産者積立金	
黒毛和種	平成29年1～12月	300
その他の肉専用種	平成29年1～12月	3,100
乳用種	平成29年1～12月	1,600
交雑種	平成29年1～12月	600

## g) 生産者積立金造成内訳 (平成29年1月～12月)

(単位：頭、円)

品種区分	個体 登録 頭数	1頭当 り積立 金単価	生産者 積立金 造成額	生産者積立金の負担区分		
				機 構 (1/2)	三重県 (1/4)	生産者 (1/4)
黒毛和種	1,306	1,200	1,567,200	783,600	391,800	391,800
その他の 肉専用種	0	12,400	0	0	0	0
乳用種	4	6,400	25,600	12,800	6,400	6,400
交雑種	1,691	2,400	4,058,400	2,029,200	1,014,600	1,014,600
合 計	3,001	—	5,651,200	2,825,600	1,412,800	1,412,800

h) 生産者積立金及び生産者積立準備金造成状況

(単位：円)

区 分		保証基準価格の品種区分	黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合計		
(1) 期首残高	①	生産者積立金	3,730,800	0	1,217,200	9,932,000	14,879,800		
	②	生産者積立準備金	—	—	—	—	93,302,060		
	内 訳	③	生産者の負担金充当分	—	—	—	—	8,797,902	
		④	都道府県の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	84,504,158	
		⑤	機構の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	0	
(2) 生産者積立金積立実績	⑥	生産者積立金純増加額 (⑨+⑫+⑮+⑱)	890,700	0	17,600	2,015,600	3,923,900		
	⑦	生産者積立準備金からの繰入額(⑩+⑬+⑯)	676,500	0	8,000	1,042,800	1,727,300		
	⑧	計	1,567,200	0	25,600	4,058,400	5,651,200		
	内 訳	生産者	⑨	負担金	107,100	0	4,800	986,400	1,098,300
			⑩	生産者積立準備金(③からの繰入額)	284,700	0	1,600	28,200	314,500
			⑪	小計	391,800	0	6,400	1,014,600	1,412,800
	内 訳	都道府県	⑫	生産者積立助成金	—	—	—	—	—
			⑬	生産者積立準備金(④からの繰入額)	391,800	0	6,400	1,014,600	1,412,800
			⑭	小計	391,800	0	6,400	1,014,600	1,412,800
	内 訳	機 構	⑮	生産者積立助成金	783,600	0	12,800	2,029,200	2,825,600
			⑯	生産者積立準備金(⑤からの繰入額)	—	—	—	—	—
			⑰	小計	783,600	0	12,800	2,029,200	2,825,600
	内 訳	その他	⑱	生産者積立金とすることを指定して寄付又は補助された財産	—	—	—	—	—
	(3) 他の資金からの繰入状況等	⑲	特別の積立金から生産者積立金へ繰入れた金額	—	—	—	—	—	
		⑳	調整積立金から生産者積立金へ繰入れた金額	—	—	—	—	—	
㉑		生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額	—	—	—	—	—		
㉒		生産者積立金に係る運用果実	—	—	—	—	—		
㉓		他資金から生産者積立金への繰入額	—	—	—	—	—		
㉔		生産者補給金交付額(㉑を含む)	0	0	0	0	0		
㉕		生産者積立金からの借入金返済額	—	—	—	—	—		
㉖		他の資金からの繰入による借入金返済額	—	—	—	—	—		
㉗		生産者積立金から生産者積立準備金への繰入額	0	0	0	0	0		
㉘		生産者積立準備金に係る運用果実	—	—	—	—	—		
㉙		生産者積立準備金から償還円滑化積立金への繰入額	—	—	—	—	—		
㉚		生産者積立準備金からの返還額(生産者分)	—	—	—	—	0		
(4) 期末残高	⑳	生産者積立金 (①+⑧+⑲+⑳+㉑+㉒+㉓-㉔-㉕-㉖-㉗)	5,298,000	0	1,242,600	13,990,400	20,531,000		
	㉘	生産者積立準備金 (②-⑦+㉗+㉘-㉙-㉚-㉛-㉜)	—	—	—	—	91,574,760		
	内 訳	㉛	生産者の負担金充当分	—	—	—	—	8,483,402	
		㉜	都道府県の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	83,091,358	
		㉝	機構の生産者積立助成金充当分	—	—	—	—	0	

## i) 特別の積立金造成状況

(単位：円)

品種区分		黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	計
期首残高		—	2,032,455	14,582,995	29,534,762	46,150,212
増 加	積立金	—	—	—	—	—
	運用益	—	—	—	—	—
	小計	—	—	—	—	—
減 少	積立金へ繰入	—	—	—	—	—
	償還円滑化積立金へ繰入	—	—	—	—	—
	普通財産へ繰入	—	—	—	—	—
	小計	—	—	—	—	—
期末残高		—	2,032,455	14,582,995	29,534,762	46,150,212

## j) 償還円滑化積立金の造成状況

(単位：円)

品種区分		黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合計
期首償還円滑化積立金の残高		2,569,483	1,086,260	426,244	200,244	4,282,231
償還円滑化積立金造成実績	機 構	—	—	—	—	—
	三 重 県	—	—	—	—	—
	生 産 者 (生産者積立準備金より繰入)	—	—	—	—	—
	合 計	—	—	—	—	—
運用益		217	92	36	17	362
生産者積立金へ繰入		0	0	0	0	0
期末償還円滑化積立金の残高		2,569,700	1,086,352	426,280	200,261	4,282,593

k) 生産者補給金交付状況  
(交付金部分+積立金部分)

(単位：円、頭、人)

期間区分			品種区分		黒毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種	合計		
平成28年度	第4四半期	平成29年 1月1日 ～ 3月31日	①交付対象頭数	販売	199	0	0	340	539		
				保留	131	0	5	16	152		
				合計	330	0	5	356	691		
			②生産者補給金単価	補給交付金	0	0	0	0			
				積立金	0	0	0	0			
				小計	0	0	0	0			
	③生産者補給金交付額(①×②)	補給交付金	0	0	0	0	0				
		積立金	0	0	0	0	0				
		小計	0	0	0	0	0				
	交付対象生産者数				0	0	0	0	0		
	平成29年度	第1四半期	平成29年 4月1日 ～ 6月30日	①交付対象頭数	販売	119	0	0	361	480	
					保留	143	0	3	44	190	
合計					262	0	3	405	670		
②生産者補給金単価				補給交付金	0	0	0	0			
				積立金	0	0	0	0			
				小計	0	0	0	0			
③生産者補給金交付額(①×②)				補給交付金	0	0	0	0	0		
				積立金	0	0	0	0	0		
				小計	0	0	0	0	0		
交付対象生産者数					0	0	0	0	0		
第2四半期				平成29年 7月1日 ～ 9月30日	①交付対象頭数	販売	181	0	0	365	546
						保留	179	0	2	60	241
		合計	360			0	2	425	787		
		②生産者補給金単価	補給交付金		0	0	0	0			
			積立金		0	0	0	0			
			小計		0	0	0	0			
		③生産者補給金交付額(①×②)	補給交付金		0	0	0	0	0		
			積立金		0	0	0	0	0		
			小計		0	0	0	0	0		
		交付対象生産者数				0	0	0	0	0	
		第3四半期	平成29年 10月1日 ～ 12月31日		①交付対象頭数	販売	144	0	0	365	509
						保留	139	0	0	56	195
合計				283		0	0	421	704		
②生産者補給金単価				補給交付金	0	0	0	0			
	積立金			0	0	0	0				
	小計			0	0	0	0				
③生産者補給金交付額(①×②)	補給交付金			0	0	0	0	0			
	積立金			0	0	0	0	0			
	小計			0	0	0	0	0			
交付対象生産者数					0	0	0	0	0		
合計					①交付対象頭数	販売	643	0	0	1,431	2,074
						保留	592	0	7	176	778
		合計	1,235			0	7	1,607	2,852		
		②生産者補給金単価	補給交付金		0	0	0	0			
			積立金		0	0	0	0			
			小計		0	0	0	0			
		③生産者補給金交付額	補給交付金		0	0	0	0	0		
			積立金		0	0	0	0	0		
			小計		0	0	0	0	0		
		交付対象生産者数				0	0	0	0	0	

② 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

a) 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業

(a) 制度運営適正化推進

補給金制度に係る業務を適正に実施するため、肉用子牛の個体識別及び個体登録、販売・保留の確認、制度推進の啓蒙・指導等円滑な業務推進と新統一電算システムによる機構への業務執行状況の報告を実施した。

(b) 指定協会調査指導

補給金制度の適正な実施体制の確保を図るため、事務委託先及び契約生産者に対する補給金交付契約の内容、手続等、事務の実施状況について定期的な点検、調査、指導を実施した。

b) 指定協会運営体制支援事業

補給金制度の円滑な実施を図るため、指定協会の運営体制を強化するための財政支援を受け、運営基盤の強化を図った。

③ 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（平成 29 年 2～3 月分交付業務）

肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に、生産者積立金と機構からの補助金により造成した基金から、粗収益と生産費との差額の 8 割を補填金として交付することにより、肉用牛肥育経営の安定を図るための事業を実施した。

a) 品種別個体登録頭数

(単位：頭)

品種区分 期間区分	黒毛和種	交雑種	乳用種	計
	平成29年1月～3月	2,846	216	17

b) 契約肥育牛 1 頭当たり地域基金造成額

(単位：円)

負担区分	肉専用種	交雑種	乳用種
生産者	10,000	25,000	17,000
農畜産業振興機構	30,000	75,000	51,000
合計	40,000	100,000	68,000

c) 地域基金造成額及び補填金交付額

(単位：円、頭)

品種区分	地域基金造成額					肥育牛 補填金
	生産者			機構	合計額	
	単価	頭数	積立金額	補助金額		29年2～3月分
肉専用種	10,000	1,875	18,750,000	56,250,000	75,000,000	0
交雑種	25,000	125	3,125,000	9,375,000	12,500,000	3,440,200
乳用種	17,000	17	289,000	867,000	1,156,000	1,167,200
合計	—	2,017	22,164,000	66,492,000	88,656,000	4,607,400

④ 肉用牛肥育経営安定特別対策事業

肉用牛肥育経営の収益性が悪化した場合に、生産者積立金と機構からの補助金により造成した基金から、粗収益と生産費との差額の8割を補填金として交付することにより、肉用牛肥育経営の安定を図るための事業を実施した。

a) 肥育牛補填金交付契約締結状況 (単位：戸)

契約区分 \ 契約者数	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
個人	110	88	89
農事組合法人	8	8	7
株式会社	14	16	18
有限会社	11	11	11
合同会社	1	0	0
合計	144	123	125

b) 品種別個体登録頭数 (単位：頭)

期間区分 \ 品種区分	黒毛和種	交雑種	乳用種	計
平成29年4月～6月	2,847	254	23	3,124
平成29年7月～9月	3,322	176	32	3,530
平成29年10月～12月	2,964	165	31	3,160
合計	9,133	595	86	9,814

c) 契約肥育牛1頭当たり地域基金造成額 (単位：円)

品種・年度 \ 負担区分	肉専用種		交雑種		乳用種
	28年度	29年度	28年度	29年度	29年度
生産者	10,000	6,000	25,000	19,000	22,000
農畜産業振興機構	30,000	18,000	75,000	57,000	66,000
合計	40,000	24,000	100,000	76,000	88,000

d) 地域基金造成額及び補填金交付額 (単位：円、頭)

品種区分	地域基金造成額					肥育牛補填金
	生産者			機構	合計額	
	単価	頭数(4月～1月)	積立金額	補助金額		
肉専用種	10,000	8	80,000	240,000	320,000	29年4月～30年1月 1,290,100
	6,000	10,057	60,342,000	181,026,000	241,368,000	
交雑種	25,000	2	50,000	150,000	200,000	32,897,200
	19,000	657	12,483,000	37,449,000	49,932,000	
乳用種	22,000	86	1,892,000	5,676,000	7,568,000	2,930,200
合計	—	10,810	74,847,000	224,541,000	299,388,000	37,117,500

#### ⑤ 肉用牛繁殖経営支援事業

肉用牛繁殖経営は、子牛出荷までの生産期間が長いいため資本回転率が低く多額の運転資金を必要とし、子牛価格の変動の影響を受けやすいという特徴を有しているため、肉用子牛生産者補給金制度を補完し、子牛価格が家族労働費の8割水準を下回った場合に差額の一部を補てんすることにより、繁殖経営の所得を確保し、肉用牛繁殖経営基盤の安定を図るための事業を実施した。

#### ⑥ 肉用牛経営安定対策補完事業

肉用牛生産基盤の強化と経営安定を図るため、地域の中核的担い手が計画的に高能力の繁殖雌牛を増頭した場合に奨励金を交付することにより、自家生産肥育素牛による収益性の向上を目指すと共に肥育経営から一貫経営への移行を牽引して新たな繁殖牛の導入や規模拡大を行う経営に対する支援を実施した。

### 2) 受託事業

#### (1) 独立行政法人農畜産業振興機構受託事業

##### ① 養豚経営安定対策事業

養豚経営安定対策事業は、平成26年度をもって一旦事業を終了し、平成27年度から新たな事業対象年間が始まった。新規加入者の募集及び事業内容周知のため、県内養豚事業者、養豚関係者等を対象に説明会を開催した。また、事業に関する問合せに対応した。

県内事業参加養豚事業者34名の内、14養豚事業者の事務委託を受けた。

#### (2) 一般社団法人家畜改良事業団受託事業

##### ① 肉用牛産肉能力平準化促進事業等における調査牛の生産・取得・肥育のための事業

全国的に供用可能な種雄牛を選抜し、精液を安定的に供給するとともに我が国肉用牛の産肉能力の迅速な向上と高位平準化に資することを目的とする事業について、調査牛の生産・取得・肥育に係る調査業務を実施した。

### 3) その他

(1) 事業推進に必要な調査を実施した。

(2) 関係団体、関係事業との協力を努めた。



4) 平成 29 年度の主な行事

年	月	日	行 事 内 容
29	4	13	養豚経営安定対策事業全国会議 東京
		5	9
	8	24	肉用牛経営安定対策補完事業全国会議 東京
		29	
	9	14~15	肉用子牛生産者補給金制度全国推進会議 新潟
30	2	8	肉用牛産肉能力平準化促進事業中央協議会 東京
	3	23	肉用牛経営安定対策補完事業全国会議 東京